

旭丘授業デザイン

時間	学習活動・教師の手立て		めざす児童の姿
5分	課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ゴールや学習活動の見通しを持たせるための工夫 実物、体験、興味・関心をもとにした課題設定 必要感、学びごたえのある課題設定 教材の視覚化、既習、学習計画の見える化 	<p>「なんでだろう？」 「どうしたら解決できそうかな。」 「…を使えば、できるかな。」 「今日の学習のゴールは…だね。」</p>
5分	自分の考えを持つ	<ul style="list-style-type: none"> 既習の活用 生活経験とのつながり 教材文、資料、図等、根拠をもとに考えさせる 不十分な考えの肯定と活用 	<p>「Aだと思う。なぜなら…」 「～まではわかった。」 「文に…と書いてあるから、～だと思うな。」 ※ノート等に書き残す</p>
25分	伝え合う・深める	<ul style="list-style-type: none"> 考え、根拠、理由を問う発問や、説明の内容を明確にするための問い返し 個に応じた支援、声かけ 1人1台端末の効果的な活用 思考を可視化するためのツールの活用 実践 目的や視点を明確にした話し合いの場の設定 ねらいに迫るための思考を深める発問、問いかけ、問い返し 	<p>「～のところから…と考えたよ。」 「どうしてそう思ったの？」 「だって、〇〇だから▲▲ってことが言えると思うよ。」 「～のところもっと詳しく教えて。」 「なるほど！」 「そういう方法もあるね。」 「そういうのもいいね。」</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>キーワードの位置付け（教科の見方・考え方）</p> <p>国語…教材文の叙述 算数…既習事項、図・表・式、規則性</p> <p>社会…写真やグラフ等の資料 理科…既習事項、実験や観察の結果、生活経験</p> </div>			
10分	適用する・まとめる・振り返る	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを使ってまとめさせる ねらいや子供の実態に合わせた適用問題 わかったことのアウプット 学びを自覚できるようなふり返りの観点 	<p>「今日のキーワードは□□だ！」 「授業の大事なところは…のところだったね。」 「〇〇さんの説明を聞いたから自分でもできたよ。」 「次は…なことを調べてみたい。」</p>